

【41】
秘橋乙第九十四号

神奈川県平民伊藤仁太郎ヨリ明廿二日其署管内川崎町堀内ニ於テ政談演説会開會致度旨別紙之通り届出候ニ付意見ヲ附シ認可之儀及稟議候処只今電話ヲ以テ認可スベキ旨指令ニ相成候条不取敢及御報候臨監及ヒ取締等ハ其署ニ於テ便宜可為致候伊藤仁太郎ハ動モスレバ過激ノ言語ヲ発スルノ弊有之候間為念併テ申進候也
追テ認可ノ指令書ハ后ヨリ御送附候

明治二十三年六月廿一日 橘樹郡警察署長

警部 黒河内良臣*

川崎分署長

警部 梶田定吉殿

* (印文) 「神奈川県橘樹郡警察署長」

【42】
秘川乙第五九号

臨時通報

一吉田正春ノ失望ト憤怒

吉田正春ノ為メニ奔走尽力ナシ居リタル者ノ中町田村ノ村長兼
県会議員ナル添田知義ハ爾来吉田ノ為メニ奔走ノ勞ヲ執ラス亦
タ尽力ヲナス能ハス各撰挙人諸君ハ各自ノ欲スル所ノ人ニ投票
セラレ度ク曾テ吉田ヘ投票スルコトヲ依頼シタル義ハ取消ス趣ヲ
通報シタルトカニテ吉田ハ失望ト憤怒ヲナシ居レリト云フ

亦昨廿七日子安村、長飯田彰重日吉村ノ村長深瀬啓十郎其他四
五名ノ者カ町田村役場ヘ集會シ逐ニ添田知義ヲ候補者ニ撰定シ
タルヨシ今其風評ヲ聞クニ吉田正春ハ財産差押ヘ其他都筑郡ノ
或ル撰挙人ヘ書面ヲ発シ投票ナシ呉レタル時ハ相当ノ報酬ヲナ
ス旨ヲ約束セリト云ヒ亦タ山田泰造モ同一ノ撰挙人ヘ向ツテ全
様ノ約束ヲナシタリ故ニ山田カ吉田カ何レヘカ一名当撰スル時
ハ必至告発ヲナシ刑セラル、モノアラシ「旁々吉田ノ為メニ力ヲ
尽スハ不名誉ノ儀ニ付」故ニ右兩名ノ中一人カ当撰スレハ忽チ

犯罪人ヲ生シ不都合ノ嫌ニ付添田知義カ可然ナラン云々トノヨ
シニ(付)テ右ノ如ク添田ト決定セリト云フ

一吉田正春ガ本日書面ヲ各撰挙人ニ送付シタル件但シ其書面ノ文体
ハ左ノ如シ

拜啓陳者小生義兼テ有志者ノ請求ニ依リ本県第二区衆議院議員
候補者タル事ヲ承諾致居候事ハ御承知之通ニ御坐候然ルニ同志
者中ニ於テ一個之異論者相生シ候ニ付北田正董(「黨」)八木
(「原」脱)繁祉両君ヲ以テ其趣意相尋候所一方ニハ是非共添
田知義氏ヲ推挙致シ度トノ趣ニテ従前ノ行為トモ相反シ各個人
運動相成候テハ向來撰挙上ノ不利益共可相成ニ付両君ニ於テ再三
論難相成候得共何分其意ニ応セス竟ニ分立相成候得共小生ハ依
然從來ノ通候補者タル地位ヲ変セス候間御賛成ノ諸君ハ何卒事
情御洞察之上此段御信認被成下度右願末為念御報道仕候也

明治廿三年六月 日

吉田正春

右報告候也

明治廿三年六月廿八日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【43】

秘川乙第六〇号

山田泰造(ヨリ)ハ別紙ノ如キ書面ヲ各撰挙人ヘ配布シタルヨシ此
段報告候也

明治廿三年六月卅日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

騰本

謹啓陳ハ今廿六日二三ノ新聞紙上ニ不肖儀本郡川崎分署ヨリ拘引云
々ノ趣掲載有之候ヘ共右ハ事実相違スル而已ナラス該虚説ハ渾テ明

白仕候ニ付明廿七日ノ諸新聞紙へ右取消シノ旨申通置候間此段御了承之上尚一層御尽力ノ程願上候

依テ別紙數通御送与申上候ニ付外諸君へモ御依頼方ヲ御差図被下度右不取敢申上旁御依頼迄如斯シ御坐候謹言

明治廿三年六月廿〇日

山田泰造

【44】 秘川乙第五八号

臨時通報

一 田中龜之助外二名逃亡セントナシタル件

川崎町ノ旅店營業人田中龜之助及酒造營業者森松太郎ト橘樹郡旭村ノ小塚清五郎ノ三名ハ何ニカ自己ニ不正ノ廉アル(□)ニヤ山田泰造ガ勾引セラレタルヨシヲ誤聞シ大ニ驚キ既ニ逃亡ヲ企テタルモ勾引セラレタルニアラサルコトヲ知り且ツ關係人ニアラサルヲ聞キ始メテ安心ナシタルヨシニ風評セリ但此ノ三名ハ山田泰造ノ為メ頗ル奔走ナシ居ルモノ也

一 添田収税長辭職ノ風評

全氏ハ(既)已ニ辭職セントナシ目下事務引継中ニシテ辭職ナシタル以上ハ衆議院へ議員トシテ出ルナラン亦全氏ガ斯ク辭職スル以上ハ是非投票ヲ全氏へセサルヘカラス云々ト風評スル者アリ

一 山田泰造ト吉田正春ノ談話

昨日午后三時頃トカ当川崎町停車場傍ラニ於テ吉田ハ山田へ對シ左ノ如ク云フタルヨシ
足下ハ運動費モ充分ナルヲ以テ運動モ頗ル盛大ナルガ小生ノ如キハ金錢ニ欠乏之ヲ告ゲ居ルニハ当惑スル云々ト申シタルニ山田ハ苦キ顔色ヲナシ居リタリ云々ト風評セリ

一 田島村ニ於テ山田ニ関シ風評セリ

山田泰造カ當選スルコトアルニ於テハ勢ヒ賄賂授受ノ件ヲ告発セサルヘカラスト云ヒ居ル者田島村ニアルヨシ
一大塚成吉ハ昨日午后三時半頃本郡高津村へ出張セリ

右出張ナシタルハ全村字二子ニ於テ懇親会ヲ開ク為メナリト云フ但シ大塚へ随行者トシテ行タル者ハ根本節之助青木勝次郎等ナリ
右報告候也
明治廿三年六月廿七日
川崎分署長
警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【45】 秘川乙第六二号

定期通報

一 飯田彰重及飯田快三ノ奔走

今般山田泰造カ投票ノ多數ヲ得當選ナシタル(件)ヲ彰重及快三ノ兩名ハ遺憾ニ思ヒ賄賂ヲ山田泰造カ(□)而(□)配贈ナシタル所アルヤ否ヤヲ搜索ナシ居ルノ所確証ヲ得タル趣ヲ以テ本月三日右兩名ハ中山郡長へ面会シ山田泰造改選ノ件ヲ談話ナシタルヨシ風評セリ

一 添田知義ノ風評

全人ガ最初ハ吉田正春ノ為メニ力ヲ尽シ居リタルニ一朝吉田ノ財産差押ノ事起ルヤ突然翻ヘリ吉田ヲ棄テ自己ガ投票ヲ得ントナシ奔走ナシ始メタルハ最モ卑劣ナル挙動ニシテ全人ガ當選セサルハ愉快ナリ若シ万一當選スルトキハ神奈川県俱樂部員ハ頗ル憤激ヲシ居ルヲ以テ暴行ノ變アルヤモ難計故ニ當選セサルハ却テ危難ヲ避ケタルノ利益アリタルモノニシテ全人ノ為メ賀スヘキモノナラン何ニセヨ本人ハ卑劣ニシテ狡猾ナル人物ナリ云々ト風評セリ

一 貧民ノ状態

当川崎町ハ貧民最モ多ク僅カ六七錢ノ戸數割ヲ納ムルコト能ハスシテ公売ノ処分ニ遭ハントスル者八九十名アリト云フ之ノ公売処分等ノ為メ郡吏二名程出張シ目下取調ニ着手セリ斯ノ如キ困難ノ場合ニ付可成失費ヲ省キ勤勞ヲ妨害スルカ如キハ廢セサ

ルヘカラス然ルニ本月ハ当町ノ祭典ナルヨリ(御)神輿等ヲ出シ祭礼ヲ盛ニセントスルカ如キハ失費ヲ多カラシメテ勤勞ヲ妨ケ細民ヲシテ愈ヨ貧苦ニ陥ラシムルモノニ付祭典ヲナサ、ル方宜シカラント云フ者ア(ハリ然ルニ)ルトモ一部分ニ於テハ之(ノ)ニ反対スル者アリ故ニ目下協議中ナリト云フ

右報告候也
但シ本報告ハ去ル二日ニ認ムヘキノ所部外へ出張等ノ為メ遅延セリ

明治廿三年七月五日 川崎分署長

警部長 高橋仲次殿

警部 梶田定吉

【46】

秘川乙第六号

当署内七ヶ所ノ投票所ハ無事平穩ニ閉会候条其概況左ニ

一 町田村投票所

一 閉会ノ時間

投票所ヲ開キタルハ午前七時閉会シタルハ午后一時ナリ外六ヶ所ノ投票所ハ撰挙人カ不残出頭シ一名ノ不参者ナキモ六時迄ハ閉会セス町田村ハ午后一時ニ至リ不残撰挙人出頭投票ヲ終リタルヲ以テ閉会セリト云フ然ルニ他ノ六ヶ所ノ投票所ハ之ニ反ス若シ町田村投票所ノ行為ハ法律ヲ活用シタリトセハ他ノ六ヶ所ハ否ラサルノ評ヲ免レス

一 選挙人数

五十九名ナリシモ一名ハ病氣ノ為欠席シ一名(□□ナリ但シ一

名ハ病氣一名)ハ選挙(ノ資格)ヲ失ヒタリ

一 川崎町投票所

一 選挙人数

三十七名ニシテ皆ナ出席投票セリ

一 大師河原村投票所

一 選挙人数

七十八名ニシテ投票セサル者九名アリ左ノ如シ

選挙権放棄

内田佐五右衛門

全

馬場 金造(「蔵」カ)

全

倉方(「形」カ) 戸右衛門

全

櫻井七郎右衛門

病氣

石渡 大助(「太」カ)

全

石川 善太郎

全

永島 長造

全

須山 富造(「蔵」カ)

本人ハ自身出頭セスシテ父清吉(□□)ガ出頭投票セシヲ以テ無効ナリ

近藤 権次郎

一 田島村投票所

一 選挙人数

六十八名ナルモ一名ハ代人ヲシテ出頭セシメタルニ付投票スル能ハスシテ帰りタリ

一 住吉村投票所

一 選挙人数

選挙人五十四名ナルモ出頭投票セサル者三名アリト云フ

一 御幸村投票所

一 選挙人数

選挙人五十二名ニシテ皆出頭セリ

一 日吉村投票所

一 選挙人数

選挙人九十八名ニシテ財産讓渡ニヨリ讓受人未丁年ナルヲ以テ選挙権ヲ失ヒタル者二名亦旅行ノ為メ出席セサル者五名病氣ノ為メ出頭セサル者三名都合投票セサル者十名

一本日ハ前十数日来ノ景況ニヨルトキハ必ス壮士ノ横行ト投票所ノ混雜モアルナラント推測ナシタルヲ以テ投票所ノ取締ト村落ノ巡邏ヲ厳重ニシタルニ案ニ相違シテ壮士輩ト思料スル者カ徘徊ナシ

居ルヲ見ス亦投票所内ハ勿論近傍ニ於テモ撰挙人ノ混雜ヲ見ス且ハ往来等ニ於テ選挙人カ相互ニ勧誘スル等ノ行為ナク投票所内外ハ皆静粛ニシテ背法ノ所業ヲナス者ナク実ニ意外ナル平穩無事ニシテ右ノ如キ敬祝スヘキ景況ト秩序井然タル狀況ヲ見ルコトヲ得タル所以ノモノハ警備ノ嚴肅タルト選挙人カ警戒心ヲ起シタルコトアリタルニ職由スルナラント被存候条右概況不取敢脚夫ヲ以テ上申候也

明治廿三年七月一日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【47】
秘川乙第六三号

請求書

一金参円也

明治廿三年六月中高等警察ニ関スル機密実費支払高

右御渡相成度此段請求候也

明治廿三年七月五日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

支出明細書

一金参円也

内訳

一金壹円

右ハ明治廿三年六月中高等警察事務ニ監督補巡查石井亥吉

「ハノ」及久下光廣使用シ其費用トシ渡シタルモノニ付領収証

ヲ添付ス

一金貳円

右ハ本官ニ於テ明治廿三年六月中高等警察事務ニ消費シタル

モノニ付領収証ヲ取ル能ハサルニ付添ヘス

右之通支出相違無之候也

明治廿三年七月五日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【48】

秘川乙第六四号

領収証

一金参円也

右ハ明治廿三年六月中高等警察機密費

右正ニ領収候也

明治廿三年七月五日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【49】

秘川乙第六五号

臨時通報

一吉田正春カ慰勞会ヲ設ントス

来ル十日ヲ期シ神奈川町料理店名古屋楼ニ於テ慰勞ノ宴会ヲ開キ全人ヘ投票ナシタル選挙人ト全人ノ為メニ奔走シタル有志家ヲ招待シ馳走スルヨシニテ基趣意ハ左ノ如シト云フ

候補者ノ一人トシテ第二区ニ於テ競争ナシタル者ナレトモ素ヨリ諸君ト知己ナルニアラス亦一面識ノアルニアラス斯ノ如キ漂泊ノ身ヲ以テ当区ニ競争ヲ試ミタルヨリ今回ノ失敗ヲ取ルハ理ノ当然ニ付怨ムル所更ラニナシ而シテ殆ント百票ニ近キ点數ヲ得タルハ偏ヘニ選挙人諸士ノ厚意ト有志家諸士ノ功ニヨル所ニシテ之ヲ以テ僥倖ト云フヘシ然ルニ是迄諸君ヘ対シ何等ノ謝意モ表シタルコトナク其勞ニ報ヒタルコトモナシ故ニ聊カ其厚意ニ応フル為メ慰勞会ヲ開キタルモノ也且ツ将来ト雖モ今回ノ失敗ニ懼レヲ抱キ競争ヲ止ムルノ精神ニアラス第二期又ハ第三期ニハ再度何ヘノ区ニカ現ハレ選挙上ニ奔走スルヤモ難計シ故ニ不相替愛顧セラレンコトヲ望ム云々〔□〕ノヨシ

右報告候也

明治廿三年七月八日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【50】

秘川乙第六七号

定期通報

一 県會議員添田知義ノ挙動

同人ハ一二年ハ政治上又ハ社交上ノ事ニハ奔走セスト云ヒ居ルヨシ而シテ町田村ノ重立タル者ハ目下村長ナキヲ以テ再度村長トナリ呉レ候様掛合中ナルモ添田ハ就職ヲ辞シ居ルモ其実ハ村会ニ於テ決議スル以上ハ再応職ニ就ク精神ナラント云フ

一 御幸村ノ村長欠員

目下同村ニ於テハ村長ナキヲ以テ村会ヲ先般開キタルニ齋藤丑之進力適當ナリトテ同人ニ一決シタルモ齋藤ハ之ヲ固辞セリト云フ同人ノ辞シタル原因ハ他ナシ村長ニナルトキハ神奈川等へ出張スルト交際ノ為メ頗ル金円ヲ消費セサルヘカラサルノ習慣アリ亦タ一方ニハ家業ヲ抛棄スルヲ以テ營業上ニ巨大ノ損害アリ故ニ名譽職ヲ拒辞スルカ為メ公民権ノ停止或ハ負担スヘキ村費ノ増課アルモ顧慮スルニ足ラス云々ト云ヒ居ルヨシ

一 農家ノ欣喜

五六日前迄ハ雨天ノ続キタルニ引換ヘ當時ハ炎天ノ打続クヨリ稲ニハ頗ル宜シク此ノ如キ模様ナル以上ハ豊年ナルナラント云ヒ居ルヨシ故ニ是迄ノ不景氣凶歳ノ為メ心痛ナシ居リタル者ハ幾分ノ喜色ヲ生シタリ

一 川崎町ノ祭典

当町ノ祭典ハ本月下旬ニアル慣例ニテ或ハ踊家台ヲ出シ神輿ヲ出シ又花車ヲ出シ随分祭典ハ盛ナルノ所本年ハ不景氣ニシテ穀価騰貴ノ時ニ付節儉ヲセサル可カラサルヲ以テ神輿ノミヲ出シ他ハ出サ、ルヨシニ決定セリト云フ

一大師河原ノ貧民

同村ハ貧民多ク為サントスル仕事モナク唯、漁業ヲナシテ一日七錢或ハ八錢位ヲ得テ親子三人又ハ四人位ノ生計ヲ立テ居レリ斯ノ如キ細民ハ同村大字藤崎遠藤野辺ニ尤モ多シ五六日前ノ事ナリトカ右細民廿一人ハ警察署カ又ハ村役場ヘ救助ヲ乞フカ為メ出頭セントノ相談ヲナシタルモ終ニ思ヒ止マリ目下ハ孜々トシテ家業ニ勉強ナシ居ルト云フ

右報告候也

明治廿三年七月十日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【51】

秘川乙第六八号

臨時通報

一 当川崎町貧民ノ計画

当川崎町ニ於テ富豪家ノ聞ヘ高キハ農業兼呉服商小宮隆太郎其他町内重立タル者カ細民ヘ南京米一升ト金十錢ツ、ヲ惠与セサルニ於テハ威ヲ示ス為メ当川崎町稲毛神社ヘ立籠ラサルヲ得ス云々ノ計画ヲナシ居ルヨシ探知セシヲ以テ秘密探偵ナシタル所右ノ如キ計画ハ無根ナルモ貧民ト町會議員或ハ地主派ト談判中ナル件アリ即(モ)チ左ノ如シ但シ此貧民ハ川崎町全部ノ貧民ニアラス唯タ大字砂子及ヒ小土呂ノ貧民ナリ然シ川崎ニ於テハ尤モ小土呂ト砂子ニハ貧民多シ

一 当川崎町大字砂子ト小土呂ノ旧二ヶ町共有金トシテ四百円余ノ金ヲ町會議員ナル小宮隆太郎カ保管ナシアルヲ細民ナル借家人等ハ聞知シ当今米価騰貴細民ハ非常ノ困難ヲ喫シ居ルニ付此際該四百円ノ共有金ヲ砂子小土呂ノ人民一般ヘ分配セラレンコトヲ乞フト請求ナシタルノ所議員ハ之ヲ拒ミ元来此四百円ノ内三百円ハ学校ヘ寄付スル金ニ充テ居ル次第第二付不殘分配スル能ハス然シ百円ハ分配セサルニアラサルモ之ハ借家人ノ如キ細民ニ

分配スルモノニアラス借家人ハ今日居リテ明日ハ居所ヲ転スル
 浮浪人同様ノ者ナレハ之ニ割渡ス理由ナシ割渡セハ地主等ノ如
 キ重立タル人民ヘ割渡ヘキモノナリト云ヒ細民ハ又タ曰ク借家
 人ト雖トモ川崎町ノ住民ナリ独リ地主等ノ如キ人民ノ特有ニア
 ラス人民一般ノ共有ナル以上ハ無論借家人モ一般人民ノ一人ナ
 ルヲ以テ割渡ヲ請求スル權利アリ亦三百円ヲ学校ヘ寄付スルカ
 如キハ廢止シ之ヲモ此際斯ク細民困難ナシ居ル時ナルヲ以テ分
 配セラレンコトヲ乞フ学校ヘ寄付スル金ノ如キハ富豪家ニ於テ
 担任セラレタシ細民ニ所有權アル共有金迄ヲ寄付セラレントス
 ルハ難渋ナリ迷惑ナリ云々ト云ヒ目下談判中ナリト云フ

右聞知セシヲ以テ不取敢御報候也

明治廿三年七月十日

川崎分署長
 警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

追申詳細ハ目下探偵中ニ有之候

【52】

秘川乙第六九号

臨時通報

一大師河原村ノ貧民全村役場ヘ救助之儀出願ノ件

大師河原村ノ中文字藤崎遠藤野辺ノ貧民ハ尤モ困難ナシ居ル趣
 キ既ニ報告ナシ置候所昨十四日該貧民十三(名)ハ「餓」ニ迫
 リ餓死セントスルニ付救助ナシ呉候様出願ナシタルモ村長ハ他
 ニ救済ノ道ナキヲ以テ其趣ヲ示シ一先帰宅セシメタリト云フ
 右不取敢報告候也

明治廿三年七月十五日

川崎分署長
 警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【53】

秘川乙第七七号

臨時通報

一大師河原村ノ富豪家細民救助ノ為メ去ル十六日全村平間寺ニ於テ
 會議ヲ開タル件

一全日正午十二時頃ヨリ左ノ人名ノ者會合シタルヨシ

(平間寺住職)

深瀬 隆健
 石渡七左衛門
 田中 時次郎
 石渡利右衛門
 全 太助
 寺尾 喜助
 櫻井 佐吉
 全 藤四郎
 全 藤八
 寺尾 唯八
 中山 峯三郎
 和泉茂左(「右」)衛門
 櫻井甚左衛門
 秋本 太郎
 近藤 權次郎
 石井 新太郎
 齊藤 權太郎
 鈴木 周庵
 川嶋勘左衛門
 和泉 茂八
 石渡忠右衛門
 中山 為造(「藏」)

右ノ者ハ孰レモ村内ニ於テ重立タル者ニシテ其會議ノ景況左
 ノ如シ

本會ノ発起者トモ言フヘキ者ハ深瀬隆健ニテ全人ヨリ左ノ発
 言ヲナシタリ

田地五町以上所有スル者ハ(此ノ際義)捐金ヲナシ南京米

百俵程ヲ求メ之ヲ貧民ニ与ヘ一ヶ月或ハ一ヶ月半位ヲ扶助シ其中ニハ米価モ下落シ生計ノ資本モ出来スヘシ〔キニ付〕故ニ此際分ノ捐金アリテハ如何且ツ小生ノ如キハ卅円位ハ直ニ捐金セン亦百俵ノ米ハ村内ニ於テ間ニ合フ次第ニ付之ヲ購メ一時当寺内ヘ積置キ村役場ニ於テ実地貧民ヲ取調ヘ幸不幸ノ者ナキ様公平ニ分配スルコトトセハ宜シカラン且ツ奨励ノ為メ捐金ナシタル者ノ人名〔□〕ト金高ヲ適宜ノ場所ヘ揭示スル様ナシタシ云々

此ノ発言ニ反対スル首唱者ハ石渡利右衛門ニシテ全人ノ曰ク救助スルコトハ全意ナレトモ其方法ハ不介意ナリ百俵ノ米ヲ積置キ施与スルヨリハ各自居住ノ大字ニ於テ適宜細民ヘ施与スル方得策ナラン例ヘハ大字川中島ノ者ハ全字ノ貧民ヘ施与シ他ノ字ニ関係セサル事之レナリ斯ノ如クスルトキハ貧民ハ其人ヲ〔遵〕愛敬スルコト大〔□□〕ニシテ従順ノ心ヲ起スコト重シ且ツ或字ニ於テ〔請書〕貧民ノナキ所アリ貧民ナキ字ニ住スル者ハ一銭ノ捐金ヲ要セサル儀〔ニ付〕旁々大字毎ニ於テ適宜扶助スルコト大ニ利益ナラン云々

遂ニ右ノ論ニ決スルトモナシニ之ニ決シ解散シタル模様ニ有之而シテ慈善家ノ評アル和泉茂八ノ〔人々〕如キハ他ノ字ニ住スル貧民ト雖モ困難スルコトナレハ何時ニテモ十五円乃至卅円位迄ハ施与スル心得ニ付自宅ヘ来レハ相当救助ナス旨窃カニ大師河原村巡査駐在所ヘ申出タリト云フ

然ルニ大字ニ於テ適宜施与スル〔事〕方法ハ不幸ヲ喫スル者アリト云フ即チ左ノ如シ

或ル字ニ於テハ貧民多クシテ富豪家少ナク甚シキハ富豪家ナク細民ノミ住スル所アリ此ノ細民ハ救助ヲ受クルコト能ハ〔ス云々ノ如キ〕サル者アリト云フ

尤モ石渡利右衛門ハ各齋家ノ聞ヘアル者ニ付此ノ如キ発言ヲナシタリト風評セリ

明治廿三年七月十八日

川崎分署長

警部長 高橋仲次殿

警部 梶田定吉

【54】 秘川乙第七三号

秘乙第七三号ヲ以テ集合体運動ノ形跡等詳細取調方御達ニヨリ別紙ノ如クニ候条此段上申候也

明治廿三年七月廿三日

川崎分署長

警部長 高橋仲次殿

警部 梶田定吉

神奈川県俱樂部支部

一位置 橘樹郡川崎町久根崎廿壹番地

一規則書ハ左ノ如シ

第一条

本会ノ主旨ハ會員互ニ交通親愛シテ智識ノ発達ヲ計ルニ在リ

第二条

本会ハ神奈川県俱樂部ノ支部トシ川崎町久根崎廿壹番地ニ置ク

第三条

旧各村ヨリ五名以下ノ常議員ヲ撰出スルモノトス其任期ハ壹ケ年トス

第四条

本会ハ会務ヲ処理スル為メ幹事五名ヲ置ク其任期ハ壹ケ年トス

但シ幹事ハ常議員ニ於テ撰出スルモノトス

第五条

常議〔員〕脱カハ本会一切ノ事務ニ関スル事項ヲ確定シ幹事ヲシテ之ヲ執行セシムルモノトス

第六条

何人ニテモ本会ノ主意ヲ賛成スルモノハ本会々員ノ紹介ニ依リ會員タルコトヲ得

但シ住所姓名ヲ記載シ幹事ヘ申出ツヘシ

第七條

會員転居シ又ハ退会セントスル時ハ其趣幹事ニ申出ツヘシ

第八條

本会ハ毎月一回第一日曜日ヲ以テ談話会ヲ開クモノトス

第九條

本会ハ毎年春秋二回總會ヲ開ク其会日ハ遅クトモ幹事ヨリ七日以前ニ報知スルモノトス

第十條

本会必用ノ費用ニ供スル為メ會員ハ毎月金式錢ヲ差出スヘシ

第十一條

幹事ハ毎年ノ總會ニ於テ前期施行シタル會計庶務ノ報告ヲ為スモノトス

第十二條

常議員ハ支部事務所ニ対スル往復通信ヲ掌リ之ヲ其各村ノ會員ヘ報告スルモノトス

第十三條

常議員ハ予メ其各村ニ於テ当番ヲ定メ置キ會員ノ会費ヲ取纏メ事務所ニ払込ムコトヲ担当スルモノトス

但シ談話会出席ノ節持參ノコト

第十四條

本会ハ幹事五名ヲ撰定スルモノトス

但シ幹事ハ無給トス

第十五條

本会ハ監督名ヲ置キ時々事務所ニ至リ庶務ノ整滞ヲ監察シ又ハ会務ニ関シ至急ヲ要スル場合ハ常議員ノ決議ヲ經スト雖モ幹事ト協議ノ上臨機ノ処置ヲ為スコトヲ得

第十六條

本会規則書ハ各會員ニ頒布シ會員名簿会費收入簿等ハ事務所ニ備置クモノトス

第十七條

本会ノ規則ニ背キ又ハ本会ノ名誉ヲ汚スノ行為アル者ハ常議員ノ評決ヲ以テ除名トス

第十八條

此規則ハ總會ノ評議ニ依テ改正増補スルコトヲ得

以上

一 集会ノ今日ニ於ケル模様

方今ノ模様ヲ視察候所殆ント解散ナシタルモノ、如ク會員ノ集会スル者ナク談話会ヲ開キタルコトナク寂トシテ声ナシ故ニ名義上ハ俱樂部ノ現在スルモ其実解散シタルト全一ノ景況ニ有之候条目下ノ所ニ於テハ取締ヲ要スル点ナキモノト認メ候

一 幹事ハ五名ニシテ其氏名ハ左ノ如シ

橘樹郡 大師河原村平民料^(マ)店營業

寺尾 喜助

全郡 旭村平民農

小塚清五郎

全郡 高津村平民農

上田忠一郎

全郡 田島村平民農

出川太一郎

全郡 川崎町久根崎旅人宿營業

田中龜之助

一 俱樂部創立以來ノ沿革

本俱樂部ヲ創立シタルハ明治廿二年十二月一日ニシテ全日発開式ヲ挙ケタル次第ニテ此ノ式ニ列席シタル者五拾二名発開式ハ此ノ如ク可ナリ盛大ナリシモ爾後毎月第一日曜日ノ定会日ニ会スル者ハ初メ二三回ハアリタルモ其後会合スル者段々減少シ目下ノ所ニ於テハ立消ノ姿トナリタルヨリ毎月二錢ノ会費ヲ徴収スルコトモナク別ニ俱樂部維持ノコトニハ奔走スルモノモナキシヨリ田中龜之助ノ如キ(ハ口)ハ偶々奔走スルモノニ応スル者ナク当俱樂部ハ有名無実ノモノニ有之候

〔以上ノ景況ニ付〕
其他倶楽部又ハ學術会等〔ノモノナク依テ目下〕ニシテ集會条例第
二条ニ依ルヘキモノ無之候也

【55】

秘川乙第七四号

定期通報

一 川崎町字砂子及小土呂共有金ノ紛議

本件ニ関シテハ本月十五日ヲ以テ不取敢其景況ヲ報道致置候所
目下ノ狀況ヲ左ニ

該共有金四百円ヲ平等ニ分配スル様請求ナシ居ル細民借家人

〔□〕惣代人ノ氏名ト相談委員ノ氏名ハ左ノ如シ

川崎町砂子

惣代人 岸 藤次〔「太」カ〕郎

全 渡辺 太郎

相談委員 根本 清八

右二名ノ惣代人ハ町長根本助右衛門ヘ対シ該金ヲ借家人ト地主
トヲ論セス川崎町大字砂子ト小土呂トノ住民公民ヘ分配ナス様
請求セシニ〔付〕町長ハ地主〔□〕集會ノ上協議ヲ遂ケ回答ナ
ス旨ヲ答弁セルニヨリ惣代人ハ地主ノ集會ヲ待居ルノ所在舊時
日ヲ経ルモ何等ノ集會モナク町長ヘ返答ノ如何ヲ問合スレハ未
タ集會ナキニ付返事ヲナス能ハスト云ヒ居ルヨリ少シク惣代人
等ハ憤激ノ色ヲ現ハシ〔屢々請〕一刻モ早ク集會スル様一日置
位ニ町長ヘ迫リ居ルニ町長ハ〔事故ニ托シ〕集會ノ儀ヲ地主ヘ
申報シタルモ末々集會ナキ旨ヲ答ヘ一時逃レニ時日ヲ経過シ居
ルヨリ惣代人ハ更ニ請求ナシテハ曰ク可成懇談ヲナシ風波ヲ起
サス事ヲ結了スルハ必要之儀ニ付地主集會ノ際ニハ借家人モ
〔合同集會ノ上〕臨席シ相談ヲナシ度ク依テ至急大集會ヲ開ク
様取計ヒ貰ヒ度キ旨目下町長ヘ談判ヲ申込ミ居ルヨシ亦借家人
〔「ニ右」〕ノ請求ヲ容レスシテ地主ノミノ共有金ナリト主張スルニ
於テハ不得止儀ニ付民事才〔「裁」〕判所ヘ訴訟ヲ提起スル見込

ナリ云々ト風評セリ

一大師河原村細民救助ノ件

本件ニ関シテハ既ニ是迄報道ナシ置候所目下細民救助ノ件ニ付
左記四名ノ者ハ下〔「ニ」〕記ノ如キ救助策ヲ設ケタリト云フ

〔平間寺住職〕

深瀬 隆健

石渡 太助

和泉 茂八

鈴木 周庵

毎日細民一名ニ付南京米五合ツ、施与シ一名ニ付壹ケ月壹斗五
舂ノ当テニシテ壹ケ月間ヲ救助スル見込〔□□〕ヲ以テ右四名
ノ者ガ順次施米ヲナスヨシ但シ一名五合ニテハ小兒大人ノ差別
ナク五合ツ、ナルヨシ〔□□〕而シテ施与スル細民ノ数ハ凡ソ百
人計リナリト云フ亦右四名ノ者ヨリ切符ヲ村役場ヘ交付シ置キ
〔細民ニ〕役場ヨリ細民ヘ切符ヲ渡シ此ノ切符ヲ持参シタル細
民ヘ施米ヲナス方法ナリト云フ

一 生産物

稻ハ本年必ス豊熟ナラント農民ハ勿論他ノ下等細民ニ至ル迄喜
ビ居ルヨシ

右報告候也但シ檢疫事務其他公務多忙ニ付〔□□〕遅延セリ

明治廿三年七月廿六日 川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【56】

秘川乙第七五号

定期通報

一 川崎町字砂子及小土呂共有金ノ紛議

〔住民ヨリ〕去月卅一日町長根本助右衛門ヘ宛テ左ノ如キ匿名
ノ葉書郵便ヲ發シタル者アリ〔尤モ發信者ハ匿名ニ付不分明ナ
リ〕

〔拜啓書面ヲ以テ忠告仕候陳ハ今回六郷渡船金ニ付砂子町住民

ノ發議ニ係ル即チ分配請求ヲ貴君ニ懇願セシ由其總代ナル者ハ砂子町杜士武名ノ由ニ聞ク君ヨ緩漫ニスルナカレ住民等ノ熱心甚シ君ニシテ若シ此急務ヲ緩漫ニセハ必スシモ總代二氏何レニカ是非ヲ求ムルナラン其時ニシテ前非ヲ悔ユルモ及ブベカラス故ニ又川崎上町公民ノ浮薄無惠無慈無憤ノ者ノ全国ニ流布スル必定ナリ(□)余輩ハ川崎町在籍者ニアラストモ上町公民等ノ心底ヲ全国ニ知ラシムルヲ好マス嗚呼君ニシテ何事ゾヤ不敬ナガラ黙々ニ付ス能ハス茲ニ一言ノ注意ヲ呈シ事靜穩ナル事ヲ望ム金ノ性質ヲ考フレハ公住民全權ナルコトハ三尺ノ童子スラモ能ク弁明スルコトナラン然ルニ兎ニ角公民トモ曰ワレ中ニハ町會議員モアルベキニ今日只今此時節柄斯ノ如キ金ヲ分配請求スルニ何ニ依リテ速ニセサル其心意ヲ知諒スルニ苦ム嗚呼考ヘナキモ甚シキモ又甚ダシ嗚呼々川崎町公民ハ)

右投書ニ関シ内密探偵中ニ候得共目下投書ナシタル者不分明ナルモ大抵ハ住民中ニ於テナシタルモノト推考致候而シテ當時ノ景況ヲ内偵セシニ町長ハ惣代二名ヘ対シ公民ヘ答弁方ヲ督促ナシ置タルニ付不日申出アルナラン就テハ分配ヲ請求スルハ砂子及小土呂ノ住民全体ノ輿論(ガ承諾)ナルカ又ハ砂子住民中二三(ノ)者ノミ主張スルノカ若シ二三ノ者ガ主張スルノミニテハ至当ナラ(サルガ)ズ然ルニ實際(ノ)景況)ハ分配ヲ請求セサル住民八十中六七以上ニ居ルノ姿ナルニ付住民全体ノ惣代ナリト云フヲ以テ請求スルハ穩当ナラサルニ似タリ云々ト町長ガ該(惣)代二名ヘ云フタルニ之ニ幾分力氣勢ヲ挫折シタル様子ニシテ目下砂子及小土呂住民全体ノ輿論ヲ造ランカ為メ惣代二名ハ奔走ナシ居ル模様ニ探知候

亦公民ノ議論ヲ聞クニ或ハ公住民全權ナルニモセヨ一旦村会ニ於テ決議シ三百円ハ学校修繕費ト定メタルモノヲ今日ニ至リ(之)ヲ改正スルニ相当ノ手統ヲ□)住民ノ請求アリトテ(一旦)決議シタルモノヲ)取消ニ及バス故ニ住民ノ請求ヲ容レサルモ可ナリ云々ト(而シテ該決議當時ノ模様ヲ聞クニ)風評セリ

(一住吉村々々長徳植竹之丞)

一物産ノ景況

梨ハ成熟シタルモ平年ニ比シテ価格ハ二三割位ハ高値ナルヨシ此ノ高値ニ為タルハ他ナシ是迄ニ霖雨ノ為メ成熟ノ時機ヲ害シタルヨリ中途ニシテ腐敗シタルモノ多キ故收獲ノ數ヲ減少シタルニヨルト云フ

稲八十十分ノ出来ニシテ目下ノ時候ヲ以テ将来ヲ推測スルトキハ豊年ナリト云フ

一民心ノ傾向

季候本順ニ復シ穀物ニ宜シキヲ得タルヨリ民心ハ何ントナク靜穩(ニシテ)ナルヨリ不景氣ヲ訴ヘ米価ノ騰貴ヲ怨ムルノ言ハ自然消滅シ(タルノ模様ニシテ)且ツ細民ノ富豪家ヲ怨望スルノ氣風ハ烟散霧消シタルノ景況ニ有之候

一貧民ノ狀況

一田島村ニハ米価騰貴ノ為メ自食スルコト能ハスシテ乞丐トナリタル者二三名アリト云フ尤モ乞丐ヲナスハ自村ニ於テハナサス他村ナル大師河原村ニ於テ為スヨシ之レハ大師ヘ參詣スル者ヲ目的トシテ(乞丐ヲナスヨシ)其路傍ニ於テスルヨシ

一大師河原村貧民救助ノ儀ニ付テハ是迄屢々報道セシカ如キ景況ニシテ夫々村内ノ富豪家カ救助米ヲ施与シタルノ所貧民中ニハ狡猾ナル者アリテ外面ニハ貧民ノ体裁ヲ飾リ内実ハ否ラサル者アリ或ル富豪家ニ於テ施米ヲナシタルニ受ケタル者ハ三四日ヲ過キ貧民ノ分ニ過キタル反物ヲ呉服店ニ於テ購求ナシ居ルヲ見貧民ニ囁着サレタル(云々ト申シ居ルヨシ)ト云ヒ之憤滿ニ思ヒ居ルヨシ

一町村制実施上ノ効果ハ如何

当署部内自治体ノ景況ヲ視テ左ニ町村制実施上(ノ)効(果ニ付)ノ一二ヲ陳述ス

町村制ヲシテ実功ヲ奏セシメントスルニハ人民ヲシテ先ツ自治体ノ何タルヲ弁知シ町村ヲ自治スルノ方法ヲ知ルノ知識ヲ備ヘ

公共事業ニ奔走スルノ徳義心ト亦此ノ余暇アルヲ要ス余暇徳義
心知識ノ三原素ナキ人民ニ自治体ヲ許スハ有害無功ノ制度タル
ヲ免レス此ノ如キ人民ニハ自治制度ヲ布カスシテ官治ノ制度ヲ
行フハ却テ有功無害ノ儀ニ有之今觀テ大師河原村役場ノ景況ヲ
見ルニ名譽職ノ位置アル村長助役等ハ自治体ノ何タルヲ弁知ス
ルノ知識ニ乏シク為メニ自治体ハ動搖シテ安泰ナラス村内ノ寧
安ヲ保チ幸福ヲ増進スルノ計画ヲ施スハコト能ハスニ違アラ
ス衛生勸業土木ノ事業ニ至ルマテ振ハス僅カニ監督官庁タル郡
衙ノ指揮命令ニヨリ運動ナシ居ルハ「ニ過キス」若シ此ノ指揮
命令ナキトキハ死物ノ如キ「ヲ免レス」ニ至ラン亦国家ヨリ依
托セラレタル官治ノ事務ノ如キ「雇書記」旧慣古例ニ熟シ居ル
雇書記ノ力ニヨリ漸ヤク執リ居ル「ニ過キス」ノ觀アリ故ニ村長
等ノ如キ名譽官吏ハ雇書記ニ瞞着セラ「ルルヲ免レス」レ居ル
ヨシヲ風評セリ斯ノ如キ自治体ノ職務ノ何タルヲ知ラサル「無
智ノ」人民ハ自治ヲ許スハ有害無益ノ誹リハ免レサルモノナラ
ン之ヲ要スルニ此ノ如キ「無智ノ」人民ヲ以テ組織シタル自治
体ハ官治ノ職務モ町村自治ノ職務モ遲滞緩慢ニ流レテ敏捷活発
ナラス時機ヲ失シテ害ヲ生セントス乃チ遲滞緩慢ニ流レントス
ル一例ハ左ニ

本月訓令甲天第卅五号ヲ以テ伝染病予防心得ヲ發布セラレタル
ニ付郡衙ハ町村長ヲ召集シ町村ニ於テ便宜衛生組合ヲ設ケ規約
ヲ立テヘキ旨訓諭シタルニ「未タ何等ノ」清潔法撰生法或ハ伝
染病予防ノ事ムヲ未タ何等ノ規約ヲモ立テス其儘ニ放棄シ置ク
所アリト云フ

右引例ノ如キハ独リ大師河原村「ノ如キモノ」ノミニアラス比
々皆チ遲滞緩慢ノ弊アル「□□□」ナラン
右報告候也

明治廿三年八月二日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【57】

秘川乙第七六号

請求書

一金参円也

明治廿三年七月中高等警察ニ関スル機密実費支払高

右御請相成度此段請求候也

明治廿三年八月五日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

支出明細書

一金参円也

内訳

一金壹円

右ハ明治廿三年七月中高等警察探偵事務ニ巡查石井亥吉及久
下光廣ノ両名ヲ使用シタルニ付其際消費シタルモノニ付両人
へ五拾銭ツ、下渡ス

一金壹円

右ハ前全件ニ付巡查上原善七へ下渡ス

一金壹円

之レハ本官ニ於テ高等警察事務ニ付消費シタルモノ也

右之通支出相違無之候也

明治廿三年八月五日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【58】

秘川乙第七七号

領収証

一金参円也

右ハ明治廿三年七月中高等警察機密費

右正ニ領収候也

明治廿三年八月五日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【59】

秘川乙第七八号

定期通報

一大師河原村海苔営業者担当人選挙ノ紛議

本月九日大師河原村清法院ニ村内重立タル者集会ノ上海苔場担当人六名ヲ撰挙セル其人ハ左ノ如シ

倉形治（「次」）郎左衛門

櫻井 佐七

石川 長造（「蔵」）

右三名ハ海苔営業者

和泉 丑五郎

倉形 惣右衛門

高橋 磯五郎

右三名ハ非海苔営業者

該村内重立タル者共ハ互ニ党派ヲ立テ始終紛議ノ絶ヘサルコトハ度々報告致置候次第二有之今回海苔場担当人選挙ノ儀ニ付テモ紛議ヲ生シ海苔営業者ノ党ハ担当人ヲ自党中ヨリ挙ントシ非営業者ノ派ハ自党中ヨリ出サントシ（互ニ）議論（ハ唱ヘ）一致和合セサリシ所遂ニ海苔営業者中ヨリ三名非営業者ヨリ三名ヲ選出平衡ヲ保タシムルコトニ一決シ選挙ヲナシタルノ所遂ニ前期ノ六名ガ当選シタルノ次第二有之然ルニ当選ノ今日ニ至リ一種ノ議論ヲ生シ其議論ノ為メ村内重立タル者ハ集会（ハヨナシ）ノ上相談ヲナシ居ル最中ナリト云フ蓋シ一種ノ議論トハ乃チ営業者ヨリ唱ヘ出シタルモノニシテ左ノ如シ海苔場管理ノ善悪ニ就テ（ハハ）利害ヲ感ズル者ハ営業者ニアリ非営業者ハ海苔場ノ盛大ナルト衰微ナルトニヨリ利害ヲ感スル者ニアラス然ルニ此ノ非営業者ガ海苔場ノコトニ関スル不法越權ノ行為タルヲ免レ

ス営業者タル者ガ一全協議ノ上担当人ヲ選ミ之ノ担当人ヲシテ海苔場ヲ管理セシムルハ営業者ノミガナスヘキ權利ナリ又義務タルニ外ナラス然ルニ非営業者タル無関係ノ者カ自家ノ營業上ノ為ニ喙ヲ容レ担当人ヲ非常業者ヨリ三名選出セシメタルハ不法ト言ハサルヲ得ス此ク不法ナル相談ニ応シ一旦之ヲ諾シ三名選挙セシメタルハ自家ノ失錯ニシテ自家ノ權利ヲ自ラ抛棄シタルニ異ナラス依テ今ヤ海苔営業者ニアラサル者ノ関涉ヲ謝絶シ（セサルニアラス）此ノ者等カ選挙シタル担当人ハ廃止セサルヘカラス云々ト営業者中ニ於テ唱道^ミ道^ミナシ始メタルヨリ遂ニ紛議ノ原因トナリ専ラ兩党ニ於テ協議ナシ居ルト云フ

一川崎町砂子及小土呂共有金ノ紛議

本件ニ付テモ是迄度々報告致置候所目下ノ景況ハ町長根本助右衛門ニ於テ頗ル尽力ナシ居（ルモ）リ地主等重立タル者ノ集会ヲ促スモ四五人位集会スルノミニ付何タル決議ヲモナスコト能ハス然ルニ住民（ノ）二名ノ惣代タルハ度々分配方ノ請求アルニ当惑シ住民ニ於テ絶ツテ困難スルト云フコトナレハ幾分ヲ不取敢分配セサルニアラス然レトモ可成地主ノ集会スル迄猶予ナシ候候様程能ク答弁ヲナス為メ惣代二名モ敢テ迫ラス其儘ニナシアルト云フ

一県會議員添田知義ノ挙動

全人カ衆議院議員選挙競争ノ當時ニ在リテ盛ンニ吉田正春ノ為メニ力ヲ尽シ途中ニ於テ返心シ吉田正春ヲ棄テ自身第二区候補者ノ一人トシテ運動ヲ始メタルモ其結果ハ失敗ヲ取り却テ社会ノ人ハ卑劣ナリト評ヲ被ルニ至リタルハ一大失錯ヲナシタリ云々ト悔悟ナシ居ル（リ）ト云フ

一細民ノ状況

今日ノ所ニ於テハ大ニ蘇生ナシタル模様ニシテ困難ノ域ニ墮ントスル者ハ減少ノ端緒ヲ開（ユルヨリ）キ皆ナ夫々日雇或ハ稼業ニ従事ナシ居ルヲ以テ悲惨ノ状況（ハ）煙散（ハ）殆ント消滅セントス

一 農産物ノ景況

農産物ハ大概上作ナルヨシニテ農家ハ皆ナ喜ヒ居レリト云フ

右報告候也

明治廿三年八月十二日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【60】

秘川乙第八〇号

臨時通報

御幸村字南河原人民不穩ノ風説

御幸村字南河原七百四十五番地

平農民 齊藤林造（「蔵」）

同村 同 字四百十二番地

平農民 飯島米造

右両名ハ全字ノ農民四十名計リ鋤或ハ鋤ヲ携ヘ随行シ来リ鉄道線
路ノ下ヲ掘リ御幸村中ニ汎濫ナシ居ル洪水ヲ吐キ出シ度旨昨夜即
チ三十日午后十一時四十分頃当川崎町停車場ニ押懸ケ参リ不法ノ
事ヲ申張居リ困難スル旨該駅長ノ急訴ニヨリ監督補巡查石井亥吉
及外一名ヲ出張説諭セシメタルノ所之レニ服シ各自帰宅ナシタル
事ニ有之候得共昨三十一日ニ至リ再心線路破壊ノ挙ヲナサントス
ル者モアルヤニテ該南河原人民ノ挙動何ントナク静穩ナラズ亦此
ノ如キ風評ヲ伝聞シ若シ南河原人民カ此ノ挙動ヲナストキハ一概
ニ該村ノ水ガ汎濫ナシ来リ迷惑一方ナラズトテ此ノ水下ニ当ル村
民ハ驚々苦情ヲ唱ヘ出スモノアリト云フ此ノ如キ模様ニ付南河原
人民ハ自村ノミノ利益ヲ計リ他村ノ損害ヲ顧ミズシテ万一右等不
法ノ挙動ヲナス計画アルヤ否ヤヲ即時探偵セシメタル所表面ハ至
極静穩ナル由復命候得共多人數ノ中ニハ不法ノ行為ヲナス者万ナ
キヲ保シ難キヲ以テ（本）昨卅一日午后七時ヨリ非常召集ヲナシ
各駐在処巡查ヲ引揚ケ該停車場内適宜ノ場所ヘ配置セリ（尤モ大
師河原村及田島村ニケ所駐在所部内ニハ堤防破壊防禦ノ為メ東奔

西走他ヲ顧ミルノ邊アラサル狀況ニ付キ引揚ケズ）然リ而シテ南

河原人民ガ線路ヲ破壊セントスル此ノ如キ挙動ヲ顕ハレントス

ル所以ハ他ナシ本月廿二日ノ多摩川洪水ヨリ田畑ノ浸水一方ナラ

ス三四日前ニ漸ク此水ハ減退スルヤ再度三十日ヨリ洪水トナリ亦

候稻ハ浸水シ此浸水ノ減退スル緩慢ナルトキハ其損害巨大ニシテ

早ク減水スルトキハ少害ニ止ル場合ナルヨリ自然線路破壊ノ議論

ヲ生シタルコトニ有之候
前頭ノ事情ニ付巡查ヲ配置シ警戒ヲナサシメタル所何ニタルコト
モ無之ニ付本日即チ一日午前六時ニ引揚候

右報告候也
明治廿三年九月一日 川崎分署長
警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

警部 梶田定吉